

令和7年度

自己評価報告書

令和8年5月27日

専門学校 穴吹リハビリテーションカレッジ

1. 教育理念、目的

教育理念	職業教育を通して、地域社会に貢献する人材を養成する
目的	理学療法士・作業療法士における基本的な問題解決能力を身につけた人材を養成する

2. 令和7年度の目標と計画

目標	(重点目標) 1. 広報キャリアセンターと連携し、理学療法学科・作業療法学科の定員を確保する 2. 広報キャリアセンターと連携し、全員業界内就職内定を達成する 3. 国家試験全員合格を達成する 4. 退学者が出ない学生支援を実行する
計画	(目標達成のための具体的事業計画、行動計画) 1. 広報キャリアセンターと連携し、理学療法士、作業療法士の専門職としての魅力を伝える 2. 就職指導管理を一元化し、内定獲得まで支援する 3. 国家試験対策実施期間をさらに拡大する 4. 模擬試験での成績不良学生を対象に、習熟度に応じた個別指導を実施する 5. 既卒生の登校管理を徹底し、全員を合格へと導く 6. 入学前から保護者説明会を実施し、教育課程への理解と協力を得る 7. 成績不良者の学習管理を保護者と協働で行う 8. 再試験、再々試験該当者の学習管理を徹底し個別指導する

3. 評価項目別評価結果

① 教育理念・目的・育成人材像

評価		A
令和7年度		
評価結果 (総括)	教育理念は「職業教育を通して、地域社会に貢献する人材を養成する」と定めており、教職員、学生に広く周知している	
取組状況と その分析	・両学科とも職業実践専門課程の認定を受けている ・卒業生（国家試験合格者）の87%が香川県に就職している ・学生中心の「高松市高齢者居場所づくり事業」に4か所に出向き、協力・実践できた	
今後の 改善方策等	・引き続き、学生ボランティア活動を通して地域との連携・交流を進めていく ・地域関連企業提案を積極的に活用し、多様な学生活動を提供できるよう進める	

1-1	教育理念・目的・育成人材像（以下「教育理念等」）は、定められていますか	A
1-1-a	教育理念等はそれぞれ定められていますか	○
1-1-b	教職員に対して、教育理念等を明示し、周知徹底を図っていますか	○
1-1-c	学生・保護者に対して教育理念等を明示し、周知していますか	○
1-1-d	教育理念等を学校外に広く公表していますか	○
実施状況等	教育理念・目的・育成人材像を定めて周知公表している	
確認資料	学校のホームページ、学生便覧等	

1-2	社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか	A
1-2-a	中期的（3～5年程度）な視点で、学校の将来構想を描いていますか	○
1-2-b	地域社会や企業・関連業界等に対し意見を求めるなど、ニーズを掴んでいますか	○
実施状況等	教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会、臨床実習指導者会議などで様々な助言を頂きながら、中期的な計画を策定している	
確認資料	学校の中期計画、教育課程編成委員会議事録、学校関係者評価委員会議事録、臨床実習指導者会議議事録	

② 学校運営

評価		A
令和7年度		
評価結果 (総括)	毎年、学園並びに学校の運営方針を定め、理事会、評議員会、学校運営検討会議、学校運営調整会議、副校長会議、教務会議を定期的に開催し、進捗状況の確認並びに様々な課題への取組や方向性を検討している	
取組状況と その分析	運営方針、事業計画に沿った運営と予算編成に則った運営を執行している	
今後の 改善方策等	学校の中期計画、年次計画に沿った、各学科ごとの具体的な事業計画を再検討し実行する	

2-1	運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか	A
2-1-a	運営方針は定められていますか	○
2-1-b	運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか	○
2-1-c	運営方針を教職員に周知していますか、また必要に応じてその浸透度を確認していますか	○
実施状況等	年度ごとに運営方針を定め、教職員大会、教務会議等で周知している	
確認資料	学校基本方針資料、教務会議議事録	

2-2	事業計画を作成し、執行していますか	A
2-2-a	事業計画を作成し、それに伴う予算も組んでいますか	○
2-2-b	事業計画の執行状況を確認していますか、または確認する体制がありますか	○
実施状況等	運営方針に沿って事業計画を作成し、年度予算を決定し運営している 学園内部監査を実施している	
確認資料	学校基本方針資料、収支予算書、内部監査資料	

2-3	組織運営は適切に行われていますか	A
2-3-a	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されていますか	○
2-3-b	意思決定に至る手順・ルートは規程等で明確になっていますか、またそれが有効に機能していますか	○
実施状況等	理事会、評議員会、運営責任者会議、学校運営調整会議、副校長会議、教務会議、学科会議を定期的に開催しており、さまざまな課題への取り組みや方向性を検討している	
確認資料	穴吹学園寄附行為、各種運営会議議事録、学則細則	

2-4	人事・給与に関する制度を確立していますか	A
2-4-a	人事・給与規程等が整備され、運用されていますか	○
実施状況等	規定集が整備されている	
確認資料	学園規定集	

2-5	業務の効率化を図っていますか	A
2-5-a	情報システム化に取り組むなど業務の効率化に努めていますか	○
実施状況等	グループウェア（desknet's）、学内統合情報システム（S-Wing）及びgoogle workspaceを業務に活用している	
確認資料	グループウェア（desknet's）、学内統合情報システム（S-Wing）、google workspace	

③ 教育活動

評価		A
		令和7年度
評価結果 (総括)	教育理念、教育課程は明文化され教職員、学生と共有し育成人材像に向けた教育活動を行っている 両学科とも厚生労働省の養成施設認可、文部科学省の職業実践専門課程の認可を受けており、 指定された教育課程に基づく教育活動を行っている	
取組状況と その分析	専任教員と非常勤講師が連携した授業運営を行っている 教育課程編成委員会などで関連分野の職能団体、病院、施設等との連携を取り、授業改善に取り 組んでいる	
今後の 改善方策等	学生授業アンケートや第三者による授業モニタリング結果を参考に教授法の改善を行う 資格取得率アップを目的とした国家試験分析を行い、得られた結果から資格取得体制の強化充実を図る	

◎ 目標の設定等

3-1	教育理念、育成人材像に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されていますか	A
3-1-a	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限を設定し、その修業年限 に対応した教育到達レベルを明確にしていますか	○
実施状況等	学生便覧・授業概要・臨床実習教育の手引に掲載し、学生へ周知している 教育課程編成委員会の助言を参考になっている	
確認資料	学生便覧、授業概要、臨床実習の手引、教育課程編成委員会議事録	

◎ 教育課程・教育方法・評価等

3-2	教育課程（カリキュラム）は、明文化されていますか	A
3-2-a	教育課程（カリキュラム）は、明文化されていますか	○
3-2-b	教育課程（カリキュラム）は、事前に学生に開示されていますか	○
3-2-c	〔職業実践専門課程〕修業年限は2年以上ですか	○
3-2-d	〔職業実践専門課程〕総授業時数は1,700時間以上または総単位数が62単位以上で すか	○
実施状況等	授業概要に明文化し、学生に配布している 厚生労働省指定規則に基づき修業年限並びに指定単位数、指定時間を満たしている	
確認資料	授業概要	

3-3	キャリア教育・職業教育（以下「キャリア教育等」）を実施していますか	A
3-3-a	キャリア教育等の実施に向け、中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」（答申）（平成23年1月31日）の内容を参照していますか	○
3-3-b	キャリア教育等の実施にあたり、教育内容・方法を工夫していますか	○
実施状況等	学外での臨床実習及び実習報告会を通じて、専門職として働く意義や目的、職業観を形成・確立していくよう指導している	
確認資料	授業概要、臨床実習の手引き	

3-4	授業改善のための取組みが行われていますか	A
3-4-a	学生に対しアンケートを実施するなど授業評価を行っていますか、また卒業時に在学中の満足度について調査していますか	○
3-4-b	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てていますか	○
3-4-c	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、授業科目等教育課程を編成・見直していますか	○
3-4-d	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っていますか	○
実施状況等	卒業時に満足度調査を実施している 各期の終了時に授業評価アンケートを実施し、教員にフィードバックを行い授業改善に努めている 職業実践専門課程・教育課程編成委員会を年2回開催し検討している	
確認資料	授業評価アンケート、卒業生アンケート、教育課程編成委員会議事録	

◎成績評価・単位認定等

3-5	成績評価・単位認定、進級・卒業判定（以下「成績評価等」）の基準は明確になっていますか	A
3-5-a	成績評価等の基準は、学則、細則等に定められていますか	○
3-5-b	成績評価等の基準を学生・保護者に明示していますか	○
実施状況等	成績評価等の基準を定め、学則及び学生便覧に明記している 学生便覧並びに成績報告書に明記し、学生と保護者に周知している	
確認資料	学則、学生便覧、成績報告書	

3-6	成績評価等を適正に行っていますか	A
3-6-a	判定会議を開くなど客観性、統一性が取れる体制を作っていますか	○
3-6-b	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っていますか	○
実施状況等	進級、卒業判定会議を実施している 臨床実習指導者に成績評価を依頼している 職業実践専門課程・教育課程編成委員会を年2回開催し、評価、意見を頂いている	
確認資料	学則、学生便覧、進級、卒業判定会議議事録、教育課程編成委員会議事録、臨床実習成績報告書	

◎資格免許の指導体制

3-7	資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	A
3-7-a	資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	○
3-7-b	カリキュラムや授業計画（シラバス）は文書化またはデータ化し、学生に配付していますか	○
実施状況等	資格取得のため国家試験出題範囲を鑑みカリキュラムを構成し、授業を実施している 年度初めに授業概要を配布している	
確認資料	学生便覧（カリキュラム表）、授業概要	

3-8	資格・免許取得のための指導体制がありますか	A
3-8-a	資格・免許取得のための指導体制がありますか	○
実施状況等	国家試験対策講座を設け、詳細なスケジュールに基づく指導体制を組んでいる 模擬試験で点数が伸びない学生に対し個別指導を実施している	
確認資料	国家試験対策資料	

◎教員・教員組織

3-9	資格・要件を備えた教員を確保していますか	A
3-9-a	教員数は関係法令等を満たしていますか	○
3-9-b	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っていますか または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っていますか	○
実施状況等	理学療法学科および作業療法学科の教員は各6名在籍し、基準を満たしている	
確認資料	ホームページ	

3-10	教員の能力向上に向けた取り組みを行っていますか	A
3-10-a	香川県専各連合会主催研修会等への参加を奨励・支援していますか	○
3-10-b	校内研修（OJT）を行っていますか	○
3-10-c	企業や各種の団体等が主催する研修会等への参加を奨励・支援していますか（前出の香川県専各連合会主催研修会以外のもの）	○
3-10-d	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させていますか	○
3-10-e	〔職業実践専門課程〕教員の実務卓越性及び教育指導力向上のため、研修計画を実施して組織的に実施していますか	○
実施状況等	教員の指導力向上を目的に校内授業研究と公開授業を実施している 教員研修規定により15時間以上の研修受講を勧めている	
確認資料	教員研修・人材育成規定及び研修報告書	

◎地域に根ざした教育〈重要〉

3-11	地域と協力、連携した教育を行っていますか	A
3-11-a	香川県内の人材を活用して、授業等を行っていますか	○
3-11-b	香川県内の企業、業界団体、自治体等と連携した授業等を行っていますか	○
3-11-c	香川県内の企業、医療機関等において、校外実習・インターンシップ等を実施していますか	○
3-11-d	県内の他の専修学校・各種学校と協力・連携した教育を行っていますか	○
実施状況等	香川大学、太田南コミュニティセンター、県身体障害者センター等より講師を招き、授業を行っている	
	香川県内の病院、介護保険施設、事業所等で校外実習を実施している	
	穴吹医療大学校、穴吹パティシエ福祉カレッジに講師を派遣し医療福祉分野の連携教育を行っている	
	臨床実習指導者講習会を香川県職能団体並びに四国医療専門学校と協働して開催している	
確認資料	授業概要、実習受諾書、非常勤講師契約書	

3-12	地域の特性を活かした教育を行っていますか	A
3-12-a	学生が香川県や各市・町の自然、歴史、文化等に触れることのできる機会を提供していますか	○
3-12-b	交通安全教育を行っていますか（交通事故死者数全国ワースト上位からの脱却を図るべく教育を行っていますか）	○
3-12-c	公共のマナーについて、教育・指導していますか	○
実施状況等	学校近隣の交差点などに出向いて、障害者目線のフィールド調査を実施している	
	香川県税理士会の協力を得て、年金教育を実施している	
	高松南警察署の協力を得て、交通安全指導と防犯指導教育を実施している	
確認資料	フィールド調査報告書、交通安全指導・防犯指導依頼文、年金講話資料	

④ 学修成果

評価		A
令和7年度		
評価結果 (総括)	各学科の国家試験合格者を明確に設定し、全員合格に向け組織的・計画的に取り組んでいる 各学科の就職率、就職内定時期を明確に設定し、全員業界内就職に向け組織的に取り組んでいる	
取組状況と その分析	模擬試験をもとに学生個々の学習理解度、進度に合わせた分析と対策を行い、適時補習等を行っている 卒年次生の国試対策主担当は担任とし、既卒生担当教員も定め、対策に取り組んでいる 卒年次生には就職個別面談を適時実施し、学生の個性、希望に応じた就職活動を支援している 香川県内求人獲得のため就職キャリアセンターが主体となり企業訪問を実施している	
今後の 改善方策等	資格取得率向上のためのカリキュラム編成を行う 国家試験不合格者分析を基に対策要領を再検討し、運営計画をブラッシュアップする 学校に寄せられる求人票以外に、ハローワークの求人情報を定期的にチェックし県内就職先を確保する	

4-1	資格・免許取得率の向上が図られていますか	A
4-1-a	資格・免許取得率の目標設定をしていますか	○
4-1-b	取得率向上のための対策等を講じていますか	○
実施状況等	各学科とも国家試験取得率目標を設定し、試験対策の授業や個別指導、補講、補習を行っている 国家試験対策講座以外に、すき間時間を利用し、勉強ができるようスマホに問題を配信している 1・2年生を対象とした解剖学・生理学・運動学の三科目模試を実施している	
確認資料	国家試験対策資料、国家試験業務報告書	

4-2	就職率の向上が図られていますか	A
4-2-a	学生に就職に対する目標を立てさせていますか	○
4-2-b	学生の就職活動状況を把握し、指導・助言していますか	○
実施状況等	第2学年冬休みに保護者と就職地域の検討を行わせ、第3学年4月には就職分野や施設を設定させている 第2・3学年を対象に、「就勝ゼミ」を実施している 広報キャリアセンター担当者と求人情報、学生活動状況を共有し、2月末全員内定の目標を設定している	
確認資料	就職目標資料、就職活動報告書、就勝ゼミ教材	

4-3	香川県内、関連業界への就職が図られていますか	A
4-3-a	早期から、県内または関連業界へ就職することの意義・メリット等について説明していますか	○
4-3-b	香川県内への就職率の向上は図られていますか	○
4-3-c	関連業界への就職率の向上は図られていますか	○
実施状況等	就職セミナー等にて詳しく意義等を説明している 業界内就職率100%、県内就職80%以上の目標を掲げている	
確認資料	就職セミナー資料、就職活動報告書、卒業生の就職先一覧	

⑤ 学習支援

評価		A
		令和7年度
評価結果 (総括)	hyper-QUを活用する等、担任による個別面談や指導を中心にきめ細かな学生指導を実施している	
	学生の状況にあわせ、心理カウンセリングを行いサポートしている	
	大学等卒業者の入学に対し、取得単位の互換等について認めている	
	より高度な学習・研究ができるよう大学等との併修または接続可能な体制は取れていない	
取組状況と その分析	広報キャリアセンターを設置し、専任職員と担任による就職情報の共有と個々の学生に適切に対応している	
	こころの問題を抱えている学生に専門家（公認心理師；学園常勤職員）によるカウンセリングを実施すること	
	で学業継続が行えている	
今後の 改善方策等	学業不振学生の保護者との連絡を密にし、学内外での管理体制を強化していく	
	卒業後の相談など卒業生の支援体制を引き続き整備・充実させる	

◎ 中途退学

5-1	退学率の低減が図られていますか	A
5-1-a	中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握していますか	○
5-1-b	中途退学防止のための対策を講じていますか	○
実施状況等	入学時より個別面談等にて学生の状況を把握し、適時三者面談や保護者への連絡を行っている	
	入学1か月後にhyper-QUを実施し、教員の主観に頼った対応にならないよう客観的な資料も活用している	
	悩みを抱えている学生に対し教員及び学校カウンセラーによるカウンセリングを実施している	
確認資料	学生指導履歴、休退学業務報告書、hyper-QUアンケート結果、学校カウンセリング履歴	

◎ 就職等進路

5-2	就職等進路に対する支援体制は整備されていますか	B
5-2-a	就職等に関する支援部署・相談部署（就職担当部門）はありますか	○
5-2-b	就職担当部門と担任教員との連携は図られていますか	○
5-2-c	より高度な学習・研究ができるよう大学等との併修または接続が可能な体制等を取っていますか	×
実施状況等	広報キャリアセンターを設置し、専任の職員と管理職、担任教員と常時情報を共有し迅速対応を行っている	
	非常勤講師は大学等に依頼し高度な学習体制をとっているが、大学との併修や接続は行えていない	
確認資料	就職の手引き、非常勤講師一覧	

5-3	就職等進路に関する教育・指導を行っていますか	A
5-3-a	企業等からの求人票をまとめ、求人情報を学生に公開していますか	○
5-3-b	就職説明会・就職相談会等を開催していますか、または人材関連企業等が主催する説明会等への参加を奨励していますか	○
5-3-c	履歴書の書き方、面接の受け方などの講座を設けていますか、または指導していますか	○
実施状況等	広報キャリアセンターで求人情報を取りまとめ、学生に公開している	
	2年・3年次の就勝ゼミと3年次の就職セミナーにて履歴書や自己PRの書き方、面接指導を行っている	
	学生の希望に応じて病院・施設見学、説明会を設定している	
確認資料	求人票一覧及び求人票、就職活動報告書	
	就勝ゼミテキスト	

◎学生相談

5-4	学生相談に関する体制は整備されていますか	A
5-4-a	入学時または定期的に、担任等が学生に対し個別面談・ヒアリングを行っていますか	○
5-4-b	学生から相談があったとき、迅速に、かつ、的確に対応できる体制がありますか	○
実施状況等	入学前より相談窓口を開き、対応している	
	入学前保護者相談会を開催し、不安解消や個別状況を確認している	
	各期前後に担任、副担任による個別面談を実施し、内容により管理職や保護者の同席での面談を行っている	
	学生からの相談があった時は、担任が中心となり適時対応している。	
確認資料	学生指導履歴、教務及び学科会議議事録	

5-5	いじめ等の防止・対応のための体制は整備されていますか	A
5-5-a	いじめや孤立を早期に発見する体制がありますか	○
5-5-b	いじめ等を発見した場合、それを解決するための体制・仕組みがありますか	○
実施状況等	随時担任、副担任からの声掛けと定期面談を実施し、早期発見、早期対策を行っている	
	教員カウンセラー・学校カウンセラーによる個別相談体制を整備している	
確認資料	学生指導履歴、クラス運営報告書	
	学校カウンセリング履歴	

◎学生生活

5-6	学生に対する経済的な支援体制は整備されていますか	A
5-6-a	公的支援制度の利用について、学生・保護者に案内、情報提供していますか	○
5-6-b	学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度等がありますか	○
実施状況等	公的支援制度を学生募集要項、学生掲示板等に掲載し、説明会、案内文等で情報を提供している	
	学費減免、特待生制度、県外特別奨学生制度、穴吹学園経済的支援奨学生制度等を実施し公開している	
確認資料	学生募集要項、ホームページ	

5-7	学生の健康を担う組織体制はありますか	A
5-7-a	学生に対し、定期健康診断を実施していますか	○
5-7-b	有所見者の再健診について適切に対応していますか	○
実施状況等	年度初めに定期的に健診を実施している	
	健診結果を学生に返し、有所見者に対しては専門病院への受診を勧めている	
確認資料	学生健康診断書	

5-8	生活環境支援体制を整備していますか	A
5-8-a	遠隔地からの学生のための寮を整備していますか、またはアパート・マンションの紹介等をしていますか	○
実施状況等	令和7年度における依頼はなかったが学生寮の整備及び提携不動産会社によるアパート・マンション等の紹介をしている	
確認資料	各種案内資料、パンフレット	

◎保護者

5-9	保護者・保証人（以下「保護者等」）との連携を図っていますか	A
5-9-a	保護者会の開催等、保護者等とのコミュニケーションを図るとともに、学校の教育活動情報を伝えていますか	○
5-9-b	成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、あるいは面談していますか	○
5-9-c	緊急時の保護者等との連絡体制を確保していますか	○
実施状況等	6月7日（土）に、保護者会支部会ならびに個別懇談（希望者のみ）、授業参観を実施した 問題のある学生に対しては適時保護者への連絡を行い、必要に応じて三者面談を実施している 素行不良者に対して、賞罰委員会を開き、指導に当たっている	
確認資料	保護者会支部会報告書、学生指導履歴、クラス運営報告書、学生調査書、賞罰員会議事録	

◎卒業生・社会人

5-10	卒業生の動向を把握していますか	B
5-10-a	年度毎に調査・集計し、動向等を把握していますか	○
5-10-b	卒業年度だけでなく、卒業後一定期間後の勤務先等就業状況を調査・把握していますか	×
実施状況等	卒業年度のみ卒業生の動向を把握しているが一定期間における就業状況は一部のみの把握となっている	
確認資料	「就職活動状況一覧」「学生内定状況一覧」	

5-11	卒業生への支援体制を整備していますか	A
5-11-a	資格、検定等不合格者に対する対策を講じていますか	○
5-11-b	再就職、キャリアアップについて、卒業後の相談に乗っていますか	○
5-11-c	卒業生が学び続けられる機会や仕組みを提供していますか？	○
5-11-d	学校は同窓会との連携を図っていますか	○
実施状況等	国家試験不合格者を対象とした対策講座を開講している 転職相談、既卒求人情報の提供を行っている 参加対象者に卒業生を含めた勉強会が実施された	
確認資料	既卒生国家試験対策資料、既卒求人情報メール一覧、川平法勉強会案内	

5-12	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備していますか	A
5-12-a	大学等卒業者の入学に際し、入学前の履修に関しての取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定していますか	○
5-12-b	教育訓練給付金対象の講座指定を受け、社会人入学生の学費軽減に努めていますか	○
実施状況等	大学等卒業者の入学に対して取得単位の互換等について、周知し、設定している 教育訓練給付金対象の講座指定を作業療法学科2年生と3年生が受けている	
確認資料	既修得科目の単位認定規定 教育訓練給付金講座指定通知書	

⑥ 教育環境

評価	A
----	---

令和7年度

評価結果 (総括)	関係法令に基づき施設・設備を整備しており、備品等も適宜追加、補充を行っている 校外実習も各方面の協力のもと実行している 学生、教職員に対する防災意識の維持・向上を図っている 臨床実習前後評価（OSCE）を計画実行している
取組状況と その分析	年間計画に沿って各種メンテナンスと各設備点検を教員及び専門業者により定期的の実施されている 臨床実習施設登録を随時更新している 防災避難訓練のマンネリ化を防ぐため、学内消防設備を使用した訓練を実施している
今後の 改善方策等	関係法令適合施設・設備等の維持管理の継続と時代に沿った新しい設備等の導入を検討する 臨床実習前後評価（OSCE）の内容を吟味し、実行を継続する

6-1	教育上、必要、かつ、十分な種類・数の施設・設備が整備されていますか	A
6-1-a	施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合し、かつ、教育上十分に設置・配置されていますか	○
6-1-b	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っていますか	○
実施状況等	関係法令に基づく施設・設備を整備している 電気保安、消防設備、エレベータ等の専門業者による定期点検を実施している	
確認資料	備品台帳、棚卸チェック表、各種定期点検報告書	

6-2	校外の実習、インターンシップ、海外研修等（以下「校外実習等」）について、十分な教育体制を整備していますか	A
6-2-a	校外実習等は、教育課程の中に組み込まれていますか	○
6-2-b	校外実習等に関する実施要領・マニュアル等を作成し、学生・保護者等に周知していますか	○
6-2-c	校外実習等についての成績評価基準を明確に決めていますか	○
実施状況等	臨床実習（校外実習）は教育課程の中に組み込まれ実施要領・マニュアルを作成し周知している 校外実習についての成績評価基準を明確に定めている	
確認資料	カリキュラム、授業概要、実習の手引き、学生心得、実習成績報告書	

6-3	防災・安全管理に関する体制を整備していますか	A
6-3-a	防災計画や消防計画を所轄の消防署に届出していますか、また必要に応じそれらの計画を変更していますか	○
6-3-b	施設・設備の耐震化を図っていますか	○
実施状況等	防災計画、消防計画を所轄の消防署に届けており、建物の耐震化も図っている	
確認資料	穴吹学園危機管理規定、穴吹学園危機管理ガイドライン、消防計画	

6-4	防災訓練等を実施していますか	A
6-4-a	学校独自で教職員・学生に対し防災研修・教育を行っていますか	○
6-4-b	香川県シェイクアウト（県民いっせい地震防災行動訓練）や各市・町が行う防災訓練等に参加していますか	○
実施状況等	毎年、防災避難訓練を実施している	
	令和7年度の香川県シェイクアウトに事前申し込みを行い参加した	
確認資料	避難訓練企画書、年間スケジュール	

⑦ 学生募集と受入れ

評価	A
----	---

令和7年度

評価結果 (総括)	中学校・高校での職業教育とオープンキャンパス等で、目指す資格を体感する機会を設けている 授業料等の納付金は、管理職及び事務局が責任をもって管理し適正に処理している
取組状況と その分析	中学校、高等学校の職業教育・進路指導イベントには参画し育成人材像を伝えている オープンキャンパスは年間計画に基づいて確実に実施している 授業料等の納付金は学生募集要項に明記され、各種進路説明会等で詳しく説明している 授業料等の納付金の管理は、承認者複数名での管理を実施している
今後の 改善方策等	アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを明確に伝える インスタグラムを活用して学生生活や授業風景を今まで以上に頻回に発信する

7-1 学生募集活動を積極的、かつ、効果的に行っていますか	A
7-1-a 高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っていますか	○
7-1-b 学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介していますか	○
7-1-c 体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしていますか	○
7-1-d 入学に対する問い合わせ等に対応できる体制を取っていますか、または人員を配置していますか	○
実施状況等	学園広報と連携し、学校広報担当が中学校や高等学校での職業教育・進路指導に参加している 学校パンフレットを作成し、オープンキャンパス、毎日相談会、web相談会で情報提供している
確認資料	学校パンフレット、募集要項、ホームページ、リーフレット等

7-2 授業料等納付金の取扱いは適切に行われていますか	A
7-2-a 入学金・授業料・施設設備費・実習費のほか、教材費等その他の費用の金額についても明示していますか	○
7-2-b 入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知（18文科高第536号）に基づいて適切に対応していますか	○
実施状況等	学生募集要項、ホームページ等に明記している 入学辞退者に対しては、文部科学省通知を遵守している
確認資料	学生募集要項、ホームページ

7-3 社会人入学生の獲得に向け、対策を講じていますか	A
7-3-a 社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れていますか	○
7-3-b 教育訓練給付制度（一般教育訓練給付・専門実践教育訓練給付）を利用できるよう取組んでいますか	○
7-3-c 給付型奨学金や授業料等減免など、学校独自に学生への経済的支援を行っていますか	○
7-3-d 子育てや女性の就業支援のための体制・教育を整えていますか	○
実施状況等	社会人推薦入学の実施、社会人特待制度による学費減免、穴吹学園経済的支援奨学生制度の整備を行っている 子育て中の学生には実習先の選定等に配慮し、就職支援も行っている
確認資料	学生募集要項、ホームページ

⑧ 財務

評価	A
----	---

令和7年度

評価結果 (総括)	出願者数、入学者数及び定員充足率データを蓄積し、学校運営の基幹数字として把握している 適正な会計処理が行われ、学校運営検討会議にて定期的に財務状況の把握検討を行っている
取組状況と その分析	予算執行にあたっては各所属長の承認の上執行され、予算と実績について定期的に確認している 学園本部監査室による定期的な監査を行い、報告指導に基づき常に改善している
今後の 改善方策等	中長期的に安定した財務基盤を目指し、経費削減の取り組みや効率化、施設設備の充実等を バランス良く行い、より充実した教育が提供できる財務体制を維持する

8-1	学校及び設置者（法人）の収支、財政基盤は安定していますか	A
8-1-a	出願者数、入学者数及び定員充足率の推移を把握していますか	○
8-1-b	収入と支出のバランスが取れていますか	○
8-1-c	設備投資が過大になっていたり、負債が返還可能な範囲を超えていたりしませんか	○
実施状況等	学校運営検討会議等で定期的に財務状況の把握と検討を行っている	
確認資料	学籍管理、予算計画、半期実績検討資料、学科管理会計資料	

8-2	予算は計画に従って適切に執行されていますか、またそれを確認していますか	A
8-2-a	予算・収支計画は有効、かつ、妥当なものとなっていますか	○
8-2-b	予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っていますか	○
実施状況等	学校運営検討会議等で半期実績検討を行い、財務状況を把握している 予算枠ごとの管理権限者体制を設け、稟申制によるチェック体制を整備している	
確認資料	予算計画、半期実績検討資料、学科管理会計資料、稟議書	

8-3	会計監査、財務情報公開が行われていますか	A
8-3-a	会計監査体制のルールが明確化されていますか	○
8-3-b	会計監査の結果報告が文書化されていますか	○
8-3-c	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいますか	○
実施状況等	学園本部監査室による内部監査を実施し、報告指導が行われている 決算報告書はホームページに公開している	
確認資料	監査報告書、決算報告書、ホームページ情報公開サイト	

⑨ 法令等の遵守

評価		A
令和7年度		
評価結果 (総括)	学園本部を中心に、専修学校設置基準並びに厚生労働省指定養成所として該当する各法令に従い、申請、届け出、報告が遅延なく適切に行っている	
取組状況と その分析	コンプライアンス室が、ハラスメントの相談窓口となり、組織的な監視体制を取っている 学校責任者と事務局が共同して、監督官庁からの調査、通達、届出要請に対応している 個人情報の取り扱いについては規定を定め、教職員全員に周知している 自己評価及び学校関係者評価を行い、組織的に改善に取り組んでいる	
今後の 改善方策等	個人情報の取り扱いについて、教職員に対して周知、意識づけを行っているが、学生も交えSNS等の新しい事象にも迅速に対応する 自己評価、学校関係者評価による改善点を学内で継続審議し、常にリフレクションする	

9-1	専修学校設置基準・各種学校規程及び関係法令の遵守と、適正な運営がなされていますか	A
9-1-a	監督官庁に対し、申請・届出等を遅滞なく行っていますか	○
9-1-b	学校運営に必要な諸規程を整備し、それを適正に運用していますか	○
9-1-c	セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規程を文書化し、対策を立て実行していますか	○
実施状況等	香川県をはじめ、所轄監督官庁に対し、申請・届出を遅延なく行っている 学園監査室、コンプライアンス室の指導のもと、法令順守に努めている	
確認資料	各届出資料、コンプライアンス規定	

9-2	個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っていますか	A
9-2-a	個人情報の取扱いについて、規程・方針を策定していますか	○
9-2-b	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていますか	○
9-2-c	リムーバブルメディア、ウェブサイト等からの情報漏洩防止策を講じていますか	○
実施状況等	学園として個人情報の取り扱いを定め組織的に取り組んでいる 教職員、非常勤講師に対し、年度毎に個人情報の取り扱いについての書面による取り交わしをしている	
確認資料	個人情報保護規定、個人情報取り扱い承諾書	

9-3	自己評価を実施し、その結果を公表していますか	A
9-3-a	自己評価を適正に実施・運用するためのルールが明文化されていますか	○
9-3-b	実施のための組織体制を整備し、定期的に取り組んでいますか	○
9-3-c	自己評価結果を報告書にまとめていますか	○
9-3-d	自己評価結果をホームページに掲載するなど公表していますか	○
実施状況等	細則にて自己評価を適正に実施・運用するためのルールを明文化し、自己評価委員会を設置運用している ホームページにて自己評価結果を公開している	
確認資料	細則、ホームページ、情報公開サイト	

9-4	〔職業実践専門課程〕学校関係者評価を実施し、その結果を公表していますか	A
9-4-a	学校関係者評価を適正に実施運用するためのルールが明文化されていますか	○
9-4-b	実施のための組織体制を整備していますか	○
9-4-c	設置課程・学科の関連業界等から委員を選出していますか	○
9-4-d	学校関係者評価結果を報告書にまとめていますか	○
9-4-e	学校関係者評価結果をホームページに掲載するなど公表していますか	○
実施状況等	細則にて学校関係者評価を適正に実施運用するためのルールを明文化し、学校関係者評価委員会を設置運用している	
	ホームページにて報告書を公開している	
確認資料	学校関係者評価委員会規程、ホームページ	

9-5	学校の教育情報について、積極的に公開していますか	A
9-5-a	学校概要、教育内容、教職員の情報等を積極的に公開していますか	○
9-5-b	〔職業実践専門課程〕認定学科の基本情報は、学校のホームページで公開するとともに、最新の情報に更新していますか	○
実施状況等	ホームページにて情報公開している	
確認資料	ホームページ	

⑩ 社会貢献・地域貢献

評価		A
令和7年度		
評価結果 (総括)	学校の教育資源である教員を高等学校や社会人講座に派遣している 地域住民を対象としたOT塾と称する「健康増進教室」を毎月1回開催している 学校施設は、専門職を中心とした研修会や地域の団体に、積極的に施設を開放し、学びの場の提供を行っている 地域清掃ボランティア、学生ボランティア部活動を支援している 香川県専各連合会からの依頼による来校型職業体験授業を受諾している	
取組状況と その分析	専門職研修会へ施設開放するだけでなく、5月以降は在校生が専門職と一緒に学べる場を提供している 学生ボランティアが参加する高松市高齢者居場所づくり事業に参加している	
今後の 改善方策等	産業界、医療界に学校の教育資源を提供する機会を設け、教員のキャリアアップを図ると共に、学生の多様な学びの機会が得られるよう取り組む 地域住民を対象としたOT塾と称する「健康増進教室」を継続的に開催する	

10-1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っていますか	A
10-1-a	地域や関連業界が開催する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）等を積極的に受託する体制がありますか	○
10-1-b	地域、関連業界、同窓会等が研修会・研究会等を開催する際、学校施設・設備等を開放していますか	○
実施状況等	高松南高校福祉科・飯山高校総合学科の授業、香川中央高校・高松東高校の探究授業、福祉用具専門相談員講座の講師を受諾している 高等学校からの学校見学、卒業生、職能団体の勉強会、臨床実習指導者講習会に学校を開放している	
確認資料	年間スケジュール、講師依頼文	

10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	A
10-2-a	学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	○
10-2-b	教職員は率先して近隣道路の清掃を行うなど、学生の模範となる行動をしていますか	○
実施状況等	ボランティア部の顧問を教員が担当し、部活動を支援している 地域清掃ボランティア（さわやかロード）に学生と教員と一緒に清掃活動を行っている	
確認資料	ボランティア部活動報告書、さわやかロード活動申請書	

10-3	学生の地域との交流を奨励・支援していますか	A
10-3-a	学生が地域や地域住民の開催する行事・イベント等へ参加することを奨励していますか	○
10-3-b	地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等（分野により研究・開発）を行っていますか	○
実施状況等	太田南コミュニティセンターに赴き、地域住民と交流した	
確認資料	各種案内及び依頼文	

10-4	高校生等の職業意識涵養に努めていますか	A
10-4-a	香川県専各連合会の若年者職業意識涵養事業（県の委託事業）に積極的に参加していますか	○
10-4-b	高校生・中学生に対し、キャリア教育・職業教育や進路に関する指導・助言を行い、職業意識の涵養・高揚に努めていますか（前出の香川県専各連合会主催事業以外のもの）	○
実施状況等	香川県専各連合会からの依頼による来校型職業体験授業を実施している	
	高松南高校福祉科、飯山高校総合学科の授業を通して職業意識涵養・高揚に寄与している	
確認資料	・年間スケジュール、講師派遣依頼文	

⑪ 総括

評価	A
----	---

令和7年度

評価結果 (総括)	学校評価の目的に沿って自己評価及び学校関係者評価を実施し、情報を公開している
取組状況と その分析	医療職能団体、学識経験者、卒業生、保護者会会長（支部長）の皆様是学校関係者評価委員として就任いただき、委員会の中で出た意見や助言を学校運営に活用している
今後の 改善方策等	学校の理念・目標・社会的使命に照らし合わせ、各項目に対する目標と計画を立てて取り組む

11-1	学校評価の実施について評価してください	A
11-1-a	学校評価の目的（何のために学校評価をするか）が、全ての教職員に浸透していたか	○
11-1-b	学校評価を積極的に実施できましたか（受動的になったり、義務感でやっていませんでしたか）	○
11-1-c	評価に向けての体制を構築し、担当責任者・担当者を明確に決めましたか	○
11-1-d	学校評価の準備から実施、また公表に至るまで、教職員が協力して行えましたか	○
11-1-e	評価結果を踏まえ、改善に向けての仕組み・流れを構築し、それをみんなで共有できましたか	○
実施状況等	自己評価報告結果を教員全員に周知すると共に、教務会議でも学校の社会的使命について考える機会をもっている	
確認資料	教務会議議事録、自己評価委員会議事録	

4. 自己評価結果（総括）

評価	A
----	---

目標達成状況	1. 理学療法学科22名、作業療法学科5名の入学生を迎え入れたが作業療法学科入学者数が過去最低となった 2. 香川県内就職率目標を超えることができ、資格取得者全員の業界内就職内定を達成することができた 3. 理学療法学科新卒者23名（合格率88%）の学生を国家試験合格に導き、社会に送り出すことができた 作業療法学科新卒者8名（合格率100%）の学生を国家試験合格に導き、社会に送り出すことができた 4. 令和6年度と比して、作業療法学科の退学者の割合（17.4%→7.1%）が減少した
今後の課題・改善方策	1. SNSなどをさらに活用して授業風景や学校生活の様子を発信し、職業紹介と学校の魅力をアピールする 2. 香川県内就職率を維持するため、求人実績のない県内施設へも働きかけ就職先の充実をはかる 3. 授業セクションの到達度評価、振り返り確認に国家試験問題を使用し、学生に国家試験合格レベルを認識させる 4. 国家試験不合格者を徹底管理し、次年度合格させる 5. 学生や保護者との面談には、適宜、対面やオンラインを活用して学習面のサポートや不安解消をはかる 6. 広報キャリアセンターと協力して卒業後3年間の就業継続状況を調査し把握する 7. 入学前からの教育サポートを行い、入学後の不安解消と職業意識を高める